

飛躍

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2007年1月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

HIYAKU

第251号

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます

2007年が希望に満ちた年でありますように

吹奏楽部2年連続4回目の金賞受賞祝賀会開催



本校アリーナにて金賞の演奏を披露

昨年本校生徒の様々な活動と2007年に向けて



校長
杉 一郎

明けましておめでとうございます。
2007年が輝かしい年でありますように。

昨年を振り返ってみますと、1月には柔道部保科知彦君(旧3年9組)の嘉納治五郎杯国際柔道大会の出場。スピードスケート戸倉翔一君(旧3年11組)のインターハイと国体出場。またスキー部鈴木孝宜君(旧3年9組)、提箸逸人君(旧3年9組)が関東大会に、ゴルフ部秋元由加さん(3年4組)、アーチェリー部真島志帆さん(3年8組)が全国大会にそれぞれ出場しました。全天候型の

テニスコートも完成し、今後のテニス部、ソフトテニス部の活躍が期待されます。5月、中国の南京でのエアロビックスのワールドカップに出場した阿部滯さん(1年9組)が2位に。柔道部、レスリングが関東大会でそれぞれ2回戦進出、なぎなたで和田うららさん(1年11組)、アーチェリー部八尾美都世さん(3年5組)も関東大会に出場しました。7月は、シード権を獲得し、上位進出が期待された野球部がよもやの初戦敗退でした。ダンス部はミスダンスドリル日本大会で5位を獲得しました。そして今年度からスタートしたのが高輪カップです。男女卓球、男子バレーボール、男女バスケットボールの各種目で、中学生の熱い戦いが体育館に繰り広げられました。また、昨年もっとも注目され

たのは、10月の全日本吹奏楽コンクールで吹奏楽部が2年連続4回目の金賞を受賞したことです。11月18日に、武井雅昭港区長をはじめ、沢山のご来賓を迎え祝賀会を開催しました。

一昨年から導入されたベストティーチャーに選ばれたのは、タイプAに関根章文(地歴公民科)、米谷昭人(保健体育科)、川島純一(保健体育科)の各先生。タイプBに大津さやか先生(理科)が選ばれました。

後援会の行事として、8月に、昨年から装いを新たに東海カルチャーセミナーを実施しました。吹奏楽部の演奏の後、陸上400m日本記録保持者の高野進先生の「走を通した自己実現」をテーマに講演がありました。テンポの良いお話に、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

夏の学園オリンピックでは、スポーツ大会、文化部門とも優秀な成績を修め、文化部門では7名が優秀賞を獲得。また、東海大学工学部航空宇宙学科パイロット養成コース「航空操縦学専攻」に、熊澤祐亮君(3年7組)が合格致しました。付属の利点を利用して、多くの生徒が熊澤君に続いてくれること

を期待しています。

10月の建学祭は、過去最高の5,135名の来校者をお迎えしました。雨の影響で開催が危ぶまれていた体育祭も、10月26日に実施。10年ぶりに剛健旅行が中止となるなど、各種行事が雨の影響を大きく受けた1年でした。この体育祭で久しぶりにエネルギーを発散させることが出来ました。

SSH活動もまもなく任期を終了いたしますが、現在期間延長の申請をしております。3月本校アリーナにて、関東エリア指定校合同発表会を開催、夏には東海大学の望星丸を利用した関東5校連携の海洋実習活動も実施いたしました。

さて、2007年、特筆すべきことは4月に開校する中等部です。私たち教職員は、これまで全力で中等部開設の準備を進めて参りました。毎回の学校説明見学会には、500名前後の参加者を迎え、受験生や保護者の期待の強さを感じております。3年後の中高一貫教育の完成のため、努力を重ねていきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

科目等履修生の体験留学記



世界の様々な問題に触れ、充実した生活

西 由貴

3年4組 横浜市立日吉台西中学校出身

付属校のメリットを生かした体験留学で、教養学部国際学科で学んでいます。当初の不安に反して実際には高校と一味違った新しい体験が出来、充実した生活を送っています。授業では、いま世界で起きている諸問題について学んでいます。体験留学に行く前は気付かなかった世界の様々な問題に直面し、特に世界には日本と違う国々がたくさんあるということに驚きかつ興味を覚えました。また、授業によってはグ

ループディスカッションを行います。ある問題について現状を知り、原因を考え、解決策を生み出します。大学生の方々の具体的な意見に対しては、抽象的な意見は通用しないので、深く考えることが重要と気付かされました。また、大学生の方が日々の大学生活を教えて下さるので、そのような情報を早く知ることが出来ることも体験留学の良さだと思います。今学んでいる国際的事象は、現代人として知っておかなければならないことばかりです。しっかり学びたいと思っています。



高校とは違う。大学は学びたいから学ぶところ

船山 要

3年5組 川崎市立井田中学校出身

私は今、体験留学生として週に2日間大学の授業を受けています。私の受けている授業は「生物学概論」という科目です。主に生物の細胞の構造、遺伝、遺伝子工学などについて学んでいます。高校の授業に比べると、大学の授業では先生が丁寧にノートをとるのを待ってくれたり、難しい所はゆっくり説明してくれたりなど全くありません。先生の講義が延々と90分続くばかりで、私が初めに想像し

ていた以上に大学の授業は大変なものでした。しかしそんな中でも大学生の先輩方は集中していて私語も無く本当に凄いなと思いました。みんな自分が学びたいからここにいるという感じで、大学とはそういう所なんだと改めて実感しました。先生自身も、専門の好きな分野を教えているので熱意にあふれ、授業にも覇気があります。私もこの体験期間を利用して早く環境に慣れたいです。そして来年の春には大学生として新たに頑張っていきたいと思っています。

一日看護体験



大変な仕事でも将来は看護師に

徳田 みなみ
2年7組 中野区立第七中学校出身

11月4日、私は東海大学付属東京病院での一日看護体験に参加してきました。将来、看護師になりたいと私は考えています。中学生の時に何回か他の病院で体験をしたことがあり、今回の体験も楽しみにしていました。今回とても印象に残ったのは、水銀で計る血圧計でお互いに血圧を測り合うことでした。家庭用にデジタルの血圧計が広まっていますが、やはり人間の耳で測るこの方法が正確だそうです。腕を締め付け、心拍の音が聞こえてきたときが最高血圧、消えたときが最低血圧です。最低を聞き分けることがとても難しかったです。他には昼食の配膳や足浴などを体験しました。指導していただいた看護師さんは、会話のできない患者さんに対して優しく声をかけながらてきぱきと仕事をこなしていました。しかし、仕事で何が一番大変かという

私たちの質問には、患者さんとコミュニケーションをとることが一番難しいと答えていました。他にも、仕事の時間内にカルテを書くことができないようで、時間外に整理しなければならないとおっしゃっていました。今回看護体験をしてみて予想以上に看護師の仕事は厳しいものだとわかりました。高校生なので実際にできることはほんの僅かですが、これからも病院でのボランティア活動に参加したいと思いました。



部・同好会活動紹介

演劇部

顧問 野口大輔・南館由里香 部員数 7名

力を合わせて舞台を創り上げる喜び

遠藤 剛史

2年6組 板橋区立赤塚第三中学校出身

私たち演劇部は、10月7、8日の第42回建学祭と、翌9日に行われた東京都高等学校文化祭演劇部門地区発表会において創作劇を上演しました。

この3日間のために夏休み中から稽古を重ねましたが、前期末試験が終わってからは授業のない時期も一日中活動することが珍しくありませんでした。役者のほかにも色々役割があるため、想像以上に時間を要するのです。照明、音響、美術、衣装、化粧、脚本、演出、舞台監督、制作…これらを部員7名ですべてまかなわなくてはなりませんでした。

建学祭では、当初に掲げた「客席数以上の観客動員」という目標を達成し、とても嬉しく思いました。翌日は、朝早く学校に集合して機材などを積み込み、大会の会場へと

向かいます。道中では仲間から緊張も感じられましたが、いざ幕が開くと全員が見事に役目を果たしました。

人間はだれしも、力を合わせて一つのことを創り上げていくことに充実を感じると思います。オモテに出たのは公演中だけですが、演劇の魅力とは、泣いたり笑ったり、時には衝突したりもしたウラにこそあるのだと思います。私たちの活動は、ご来場くださる皆さま方のご協力に支えられています。感謝の気持ちで一杯です。そして、これからも応援よろしくお願ひします。



学園教科モデル校研究公開授業開催

10月20日、東海大学学園教科理科モデル校研究公開授業・東海大学付属高輪台高等学校SSH報告会を本校で行いました。また11月22日、高校現代文明論および英語モデル校として公開研究授業を行いました。全国の学園各高校及び東海大学から多数の先生方が参観してくださいました。一昨年に引き続き、本校は理科・

英語・高校現代文明論のモデル校に指定され、内容を深めつつ、能力を引き出すための授業開発に努力しています。講評会では活発な意見交換がありました。今後の授業改革に向けての、新たな手がかりとなることと希望します。そして各学校の授業改善の一助になればと願っています。

理科 問題解決型の実験を中心とした授業

問題解決型の実験を中心とした公開授業を、1年生普通クラスの理科総合B、SSHクラスの化学I、2年生SSHクラスの物理Iで展開しました。それぞれの授業では、ただ手順どおりの実験ではなく、生徒たちが自ら考え、様々な疑問や問題を解決していけるような工夫がなされています。また3年間のSSH活動の集大成として、SSH報告会も同時開催しました。3年生SSHクラスの『科学倫理』は、全ての科目の先生方が関わって、文明が生み出した現代社会の諸問題を多方面から正しく捉え、考える力と判断力を養うことを目標にしています。当日は、『環境倫理』についてパネルディスカッションをおこないました。また、『課題研究』発表会では、3年生SSHクラス代表6名が口頭発表をしました。公開授業・報告会後の研究協議では、参加した東海大学内外からの多くの先生方と活発な議論がおこなわれました。今後も、今まで以上に授業開発をおこない、より良い授業を展開していこうと考えています。(石井)



生徒が自ら考え問題解決を。熱心に顕微鏡をのぞき観測する

英語 本校英語科の目指すもの

教科書にある英語の文章を読むとき、話の概要をつかむだけで終わってしまっただけでは、英語に対する興味・関心が育っていきとは言えません。また、英語力が伸びていくという実感も乏しいものとなるでしょう。ただ、英語を一言一句、辞書を引きながら読み進める力だけでは感じることはできません。本校英語科では、読んだ文章から得た知識をもとに、プレゼンテーションをするなど英語をアウトプットできる力につながるような工夫をしています。そして、その前提となるのが英語をしっかりと取り込んで、頭の中に英文を残すインプットです。今回のモデル校授業では、インプットするための様々な活動を参観者の方にご覧頂きました。特設クラスということもあり、センター試験対策の英文をもとにした授業展開となりました。しかし生徒達が、積極的に声を出していろいろな方法で英文を読みこんでいく姿に関心が集まっていたと思います。参観者からは、センター試験の英文を素材とした英語学習法の利点についても言及があり、今後の英語科の指導法を模索する上でも、大変有益な機会となりました。(田中享)



インプット、アウトプットの工夫をする英語の田中享先生

高校現代文明論 本当の自分とは何か、自分探しの学習

高校現代文明論の公開研究授業で、私は「アイデンティティ」をテーマに挙げて授業を行いました。アイデンティティという言葉は、日本人にとっては馴染みの薄いものです。日本語に訳すと「自己同一性」と言います。分かりやすく言えば「私は〇〇だ」と自信を持って言える、その〇〇がアイデンティティになります。

今回は、アイデンティティについての第二弾ということで、本当の自分について考えてみました。自分の中には様々な自分が隠れています。その中でどれが一体本当の自分なのか、自分探しを試みたわけですが。生徒たちが理解しやすいように漫画を使って授業を組み立てました。結果は…個人的には残念な結果になりました。シミュレーションを行ったにもかかわらず、納得のいく授業を展開することが出来ませんでした。

しかし、授業を受けていた生徒や各付属校の先生方からは、温かい言葉を頂きました。まだ不完全ではありますが、今後とも精進し、より良い授業を展開していければなと思っています。(数馬)



「本当の自分について考える」授業を展開する数馬先生

SSH活動報告

課題研究は生徒が自らテーマを決め、専門の教師の指導のもと観察・実験研究をします。一昨年から同じテーマを追求し研究をする生徒、あるいは4月から新たにテーマを決めた生徒もいます。一年間をかけても思ったような結果を出せず残念がる生徒もいます。しかし失敗の中から新たな発見をしていくようです。11月、この課題研究を全員が発表しました。また、6人が5テーマについて左頁にありますSSH報告会でも発表しました。

SSH活動で専門を生かすことができた喜び

塩出 美咲
教諭 理科担当

教員1年目の私が初めてSSH活動を知り、その活動に携わりました。その中でも、3年生対象に行われている「課題研究」という授業では、とても高校レベルとは思えないような、難易度の高い、そして専門性の高い内容の研究をしていることに驚き、大きな刺激を受けました。私が担当した生徒は、隣の短期大学の先生に協力していただきながら、「流星の電波観測」を行いました。このような研究が高校で実施可能なのは、SSHだからこそだと思います。また、私は大学で電波天文学を勉強していたのですが、そのときの経験が早速生かせるとは思ってもいなく、とてもうれしく思いました。もちろん、内容が高度で、専門性が高い分、こちらの準備も大変ですが、高校生でこのような勉強に触れることのできるSSHをすばらしく思うと同時に、このような活動に携わることができてとても光栄に思っております。今後は、SSHで培われた専門性などを、もっと多くの生徒に還元できるよう努力してまいりたいと思っています。



合成したダイヤモンドの観察(高輪短大にて)



東海大学の先生方を前にしての発表

課題実験は失敗の連続でしたが・・・。

吉澤 宏樹

3年11組 江戸川区立小松川第三中学校出身

僕は、この一年、一昨年始めた課題実験の続きで細胞性粘菌の実験をしました。粘菌の特性である走性を調べるために、明暗・エサ・薬品に対する実験をしました。結果はどの条件でも粘菌は移動せず、思っていた結果が得られませんでした。原因は粘菌の濃度が高すぎて、うまく集合体にならなかったためだと思います。それから何度か実験をしましたが、一度も成功しませんでした。実験が成功しなかったのは残念で、生物の実験は簡単ではないと身をもって知りました。また、2年生、先生の前での発表は、とても緊張しましたが、プレゼンテーション能力はついたと思っています。約1年間、細胞性粘菌の実験をしてきましたが、納得する結果は出せませんでした。しかし私のSSH活動の中では、一番集中し、頑張っており組めたと思います。

ロケット研究を通して私の探求心が強まる

秋田 悠太

3年11組 横浜市立森中学校出身

私はこの1年間ロケットについて学びました。2年生の時にアルコールロケットという、アルコールを燃焼させて紙コップを飛ばす実験を行いました。飛ばしたといっても2m程だったのですが、これが私のロケットへの探求心を駆り立てたのです。3年生になって始めたペットボトルロケットの研究では、距離をのばすために羽の取り付けかたなどに細心の工夫を求められました。また、ペットボトルロケットが水を噴き上げて飛行した時、感動し、私はこの研究を行って良かったと思いました。

これらの実験結果を発表しました。反省すべき点は山ほどありました。この失敗を糧に、プレゼンテーション能力をさらに上げたいと思いました。

ゴダードが液体燃料のロケットを打ち上げて80年が経ちました。そして宇宙を目指した先人に負けないように私もさらに探究心を強め、この1年間の研究が将来に繋がればと思います。



2年SSHクラスの生徒を前にしての発表

地域と共に生きる

高輪台小学校体育館にはダンス部の汗と涙が

ダンス部 3年4組 私立青稜中学校出身 岩井 瑛海

11月11日は高輪台小学校のお祭りでした。私たちは、先輩方の代からこのお祭りに呼んでいただいています。私たちダンス部は全国大会に向けての練習場所として高輪台小学校の体育館を利用させていただいております。大変感謝しています。その縁で、お祭りに招待され、そして私たちの演技を披露させていただいております。アンコールまでいただき、たくさんの小学生のみなさんに暖かい声援をいただきました。私にとって高輪台小学校は、予選・本選ともに、仲間と厳しい練習をたくさん積んできた思い出の場所です。感謝の気持ちで小学生のみなさんや教職員の皆様の前で踊ることができ、本当に嬉しく思っています。

大会メンバーが選抜されてからの間、予選大会、全国大会、建学祭と、毎日練習をともにしてきました。動きを一つにそろえるために何時間も練習したり、笑顔で踊る練習をしたりと、今思えば辛いことや苦しいこともあ

り、たくさん悩んだ日々もありました。けれども、みんなと協力をして気持ちを強く持ったことで、乗り越えることができたんだと思います。高輪台小学校の体育館で、私たちは涙や汗を流しました。この8ヵ月間で私は助けてくださる方々や、仲間がいるという素晴らしさ、そして協調性を学びました。来年のダンス部も精一杯頑張った、地域の方に喜んでいただけるような実力をつけてくれることを期待します。



吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール金賞受賞演奏会と祝賀会

3年連続の金賞をめざす生徒の顔に誇りと自信が



吹奏楽部 顧問 畠田 貴生

本校吹奏楽部の、「第54回全日本吹奏楽コンクール」での金賞受賞を記念して、演奏会および祝賀会を、11月18日(土)に開催していただきました。演奏会には多数のお客様が、そして祝賀会には、港区長武井雅昭様、東京都高等学校吹奏楽連盟理事長西田豊様、高輪警察署長工藤善朗様をはじめ、多くの来賓の皆様、後援会・

部活動後援会・高輪会の皆様、教職員の方々、学園関係者の方々、そして部員の保護者の皆様がご出席下さり、部員達の偉業をお祝いしていただきました。部員達の顔には、誇りと自信、そして喜びが浮かんでいました。来年もこのような会を開催していただけるよう、3年連続の金賞受賞を目指して今後も頑張ります。本当にありがとうございました。



活躍

する卒業生

Active Graduates

1995年卒

萱場 隆人

東海大学健康科学部
看護学科卒業

現在

東海大学保健管理センター勤務

「希望を星につないで活躍する卒業生」、今月は現在東海大学保健管理センターに勤務されている萱場隆人さんを紹介しつづけます。男子校時代の卒業生で本校出身の看護師第1号です。自分の人生に大きな影響を与える決定的な出会いは、人ばかりでなく、時には本であったり、映像であったり、芸術であったりします。感性を研ぎ澄まして生きるとき、出会いを感じるのかもしれない。萱場さんはブラウン管の中の映像に感動し、生きる道を見つけたようです。

見渡せば男ばかりの男子校のころ、そしてまだ古い校舎だったころ、私は高輪台高校に在学していました。スキー部に所属していたため、オフシーズンは、通称「品川回り」や「五反田回り」のランニング(近道していましたが…)、その後筋トレ。ランニング中には、近隣の高校の女子高生にみんなで目を輝かせながら、ただひたすらに「男だらけのトレーニング」に明け暮れていました。山岳部にも入部し(入部させられ?)、北アルプスの燕岳に登る機会もあり、登山では自然の厳しさを学び、仲間との絆を深めることができました。そんな中、テレビで頻りに放送していた医療関係のドキュメント番組を見ていた私は、ブラウン管のなかで活躍する看護師に憧れ、当時新設された健康科学部看護学科に一期生として進学しました。看

護学科は、女子学生約10名に対して男性1名という割合で、まさに「女子校」。男子校出身の私は、その雰囲気にも多少の不安感を抱きながらも、無事に卒業して看護師と保健師の国家試験に合格。東海大学医学部付属病院小児科で看護師として勤務した後、現在は東海大学湘南校舎の保健管理センターで保健師として勤務しています。学校保健の場では男性は珍しく、大学で保健師をしていることを知った他大学の保健師の方からも驚かれることもしばしばあります。大学の保健師は、学生や教職員の健康診断をはじめ、相談業務や健康教育などを主に行っています。今、この仕事をしていて「大切だな」と感じることは、「チームワーク」です。高校時代にスキー部での活動をはじめ、大学時代に苦難の連続であった実習や国家試験を

乗り越えられたこと、病棟での看護をはじめ、現在の職場でも、自分ひとりでの目標達成はできなかったと考えています。困ったときや苦しいときは支えあい、そして嬉しいときはその喜びを倍増させてくれるのが、良き仲間であり固い絆「チームワーク」であります。皆さんも高輪台高校で、是非とも良き仲間と固い絆をつくり、それを一生の財産にしていいただければと思います。



高輪短大 INFORMATION

コンピュータミュージック



情報・ネットワーク学科講師 田丸 智也

私の専門分野は作曲、コンピュータミュージックで、テレビやラジオ、ホームページなどに付ける音楽を制作しています。いわゆるBGM(バックグラウンドミュージック)ですね。BGMが普通の音楽と違うのは「聴くことを強要

しない」「主張しすぎない」ことで、制作する際は常にディレクターと呼ばれる全体を統括する人と何度も話し合っ

てより良いものを目指していきます。高輪短大で担当している「DTM(デスクトップミュージック)演習」という科目では、こうしたプロセスを実際に学生に課題として出しています。時間はかかりますが、学期末には真剣に作ったオリジナル作品を提出してくれ

ます。昨年より東海大学エクステンションセンターで「はじめようコンピュータミュージック」という講座を年に数回開いています。毎回、小学生からシニアの方まで様々な参加者があります。コンピュータを使ったものづくりの楽しさを、色々な方に知ってもらえればと思い、今後も続けて行きたいと考えています。コンピュータというとWordやExcel、メールやインターネットなどを思い浮かべるかたが多いかも知れませんが、創造的な道具としての側面も、是非体験してみたいはいかがでしょうか。

お知らせ

東海大学進学相談会

進路決定の大きな一歩

1月13日(土) 9時30分～12時35分

東海大学3大学3短大から教職員を本校に迎えて、
生徒・保護者を対象に各大学などの特色を説明していただきます。
自分の進路を決めるに当たって参考にして欲しいと思います。



つづけ!!高濱佳彦君に

2年10組の高濱君が
英検・準一級に見事合格。
2月号で、夢を語ってもらいます。

英検・漢検

漢検 1月26日(金)

英検 1月27日(土)

英検は全員が、それぞれの級に挑戦。
目標めざしてベストをつくそう。

行事 予定

January | 月

February 2月

- 1日(月) 元旦、カナダ中期留学(～2月27日)
- 3日(水) SHIP事前研修(成田)
- 4日(木) SHIP(～2月24日)
- 6日(土) 新春懇親会
- 8日(月) 成人の日
- 9日(火) 朝礼・授業開始
- 13日(土) 東海大学進学相談会(2年)(9:30～12:35)
- 14日(日) 中等部受験生・保護者第5回学校説明見学会
- 16日(火) 専門医によるカウンセリング
- 18日(木) 高校推薦願書受付、校医相談日(13:30～17:00)
- 20日(土) 1年スポーツ大会(アリーナ)
- 22日(月) 中等部入試願書受付(第1回～1月31日・第2回～2月2日)
- 23日(火) 高校推薦入試(生徒自宅学習日)
- 23日(火) 高校推薦入試合否発表
- 24日(水) 高校推薦入学手続き
- 25日(木) 高校一般願書受付(～31日)
- 26日(金) 漢検
- 27日(土) 英検
- 31日(水) 特別講座終了(3年)

- 1日(木) 中等部第1回入試(生徒自宅学習日)
- 2日(金) 中等部第1回入試合否発表
- 3日(土) 中等部第2回入試
- 4日(日) 中等部第2回入試合否発表
- 5日(月) 朝礼
- 7日(水) 月曜日の授業
- 8日(木) 学年集会(2年)
- 10日(土) 高校一般入試(生徒自宅学習日)
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日、高校一般入試合否発表
- 13日(火) 月曜日の授業、高校一般入試手続
- 15日(木) 生徒による授業評価アンケート(1・2年)
校医相談日(16:30～17:30)
- 16日(金) 基礎力判定テスト(5教科、1・2年)
- 20日(火) 専門医によるカウンセリング
- 23日(金) 登校日(3年)

3年・スポーツ大会(アリーナ)の様子



編集 後記

賀春。例年、暮れに清水寺の貫首がその年の世相を表す1文字を大書する。悲喜こもごもの1年をこの文字で振り返り嘆息したり、反省したりする。昨年の1字はこの原稿締め切りに間に合わなかった。それで私が選んでみた。「心」である。生徒にも何度も「心」と言う言葉話を話した。心が痛むことがありすぎる。戦に怯える幼子、飢えに苦しむ子、いじめ、自殺。心をむしばんだり、むしばまれたり。一人の教員が昨年女兒を出産した。名前は「心優美」と書いて「こゆみ」ちゃん。何と美しい名前であろうか。親の切なる気持ちがあらわれている。世界に発信している。2007年が優しさに満ちる年でありますように。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>